

# 関西経済レポート

1月までの指標を見ると、輸出はアジア向けが牽引し、前年同月比での増加を維持。生産は持ち直しの動き。消費は政策効果の反動が最悪期を脱し、持ち直しの動き。住宅投資は政策効果によって持ち直しの動きがみられた。雇用環境は厳しい状況が続くものの持ち直しの動きがみられた。

3月11日に東日本大震災が発生、広範なエリアでの未曾有の被災やインフラへの深刻な打撃から、生産、物流、雇用などに直接間接に大きな影響が懸念される。震災の影響も踏まえて、今後の関西経済の動向を注視していくことが必要である。

2011年3月18日

関経連経済調査部

※本レポート中の「近畿」「関西」の範囲は滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県。

ただし鉱工業生産、大口電力需要、大型小売店販売額、コンビニエンスストア販売額については、福井県を含む2府5県。

～目次～

政府・日銀の景況判断	1
生産	2
輸出入	4
個人消費	6
住宅投資	8
株価・為替	9
倒産	10
雇用	11

# ～政府・日銀の景況判断～

	近畿 近畿地区金融経済概況 日銀大阪支店	中部 金融経済月報 日銀名古屋支店	全国 金融経済月報 日銀	全国 月例経済報告 内閣府
2010年1月	⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、緩やかに持ち直している。	⇒ 東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。	⇒ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	⇒ 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年2月	↗ 近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、持ち直している。	⇒ 東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。	⇒ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	⇒ 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年3月	⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、持ち直している。	⇒ 東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。	⇒ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。	↗ 景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年4月	↗ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。	↗ 東海3県の景気は、持ち直しを続けており、業種間・企業間の格差も徐々に縮小している。	↗ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、海外経済の改善や各種対策の効果などから、持ち直しを続けている。	⇒ 景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年5月	⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。	⇒ 東海3県の景気は、持ち直しを続けており、業種間・企業間の格差も徐々に縮小している。	↗ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。	⇒ 景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年6月	⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。	↘ 東海3県の景気は、生産の増勢が足もと一服しているが、全体としては持ち直しを続けている。	⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。	↗ 景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年7月	↗ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。	↗ 東海3県の景気は、生産の増勢が一時的に鈍化した後、その後は再び増勢が戻りつつあり、全体として持ち直しを続けている。	⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。	⇒ 景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年8月	⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。	⇒ 東海3県の景気は、持ち直しを続けている。	⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。	⇒ 景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年9月	⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。	⇒ 東海3県の景気は、持ち直しを続けている。	⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。	↘ 景気は、引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きもみられるが、このところ環境の厳しさは増している。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2010年10月	⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。	↘ 東海3県の景気は、持ち直しを続けてきたが、ここに来て急速に減速しているようになりかわれる。	↘ わが国の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きが弱まっている。	↘ 景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年11月	↘ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあるものの、このところ足踏み感も窺われている。	↘ 東海3県の景気は、急速に減速している。	↘ わが国の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる。	⇒ 景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2010年12月	↘ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあるものの、このところ足踏み状態となっている。	↗ 東海3県の景気は、足踏み状態となっている。	⇒ わが国の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる。	⇒ 景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。
2011年1月	⇒ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあるものの、このところ足踏み状態となっている。	⇒ 東海3県の景気は、足踏み状態となっている。	⇒ わが国の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きに一服感がみられる。	↗ 景気は、足踏み状態にあるが、一部に持ち直しに向けた動きがみられる。ただし、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。
2011年2月	↗ 近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、昨秋からの足踏み状態を脱しつつある。	↗ 東海3県の景気は、持ち直し基調に復活しつつある。	↗ わが国の景気は、改善テンポの鈍化した状態から徐々に脱しつつある。	↗ 景気は、持ち直しに向けた動きがみられ、足踏み状態を脱しつつある。ただし、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。

## ○日銀大阪支店は2月の景況判断を

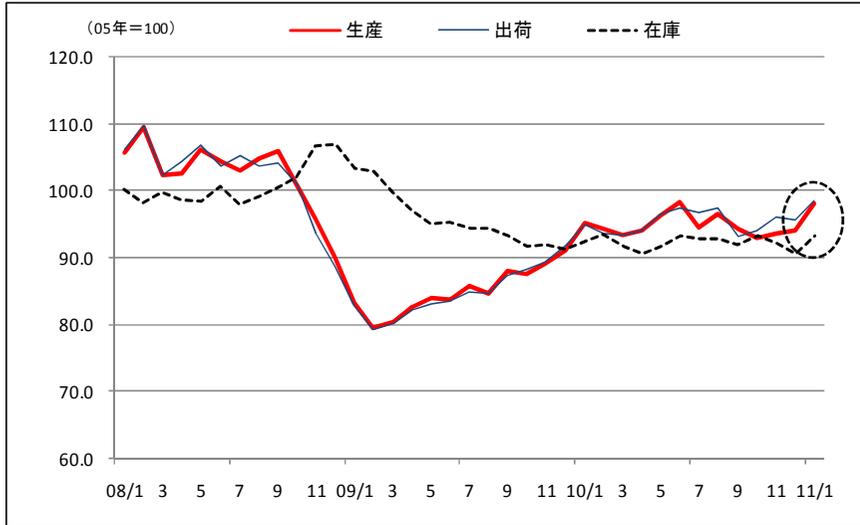
「**近畿地域の景気は、緩やかな回復基調にあり、昨秋からの足踏み状態を脱しつつある。**」とした。

「すなわち、輸出や生産は、昨年後半には増勢一服状態にあったが、アジア向け輸出の持ち直しなどから、再び増加に転じつつある。設備投資は、企業収益の改善が続く中で、緩やかに持ち直している。また、雇用面では、失業率の高止まりなどに厳しさを残しつつも、賃金は下げ止まってきている。こうしたもとで、個人消費は、各種の駆け込みと反動の動きを伴いながら、緩やかに持ち直しつつある。この間、公共投資は、減少している。

先行きについては、海外経済や為替相場の動向に加え、国際商品市況上昇の影響などを注視していく必要がある。」とした。

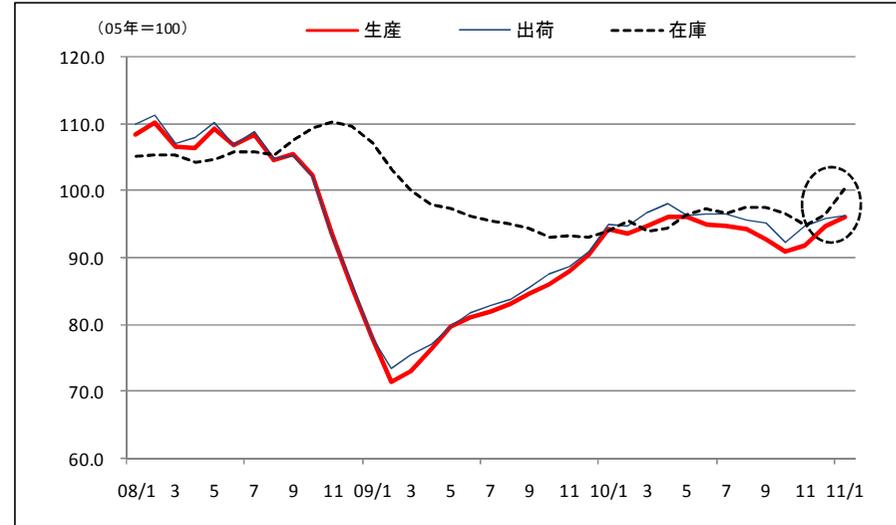
# ～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2011年1月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2011年1月確報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業  
生産指数  
(前月比、%)

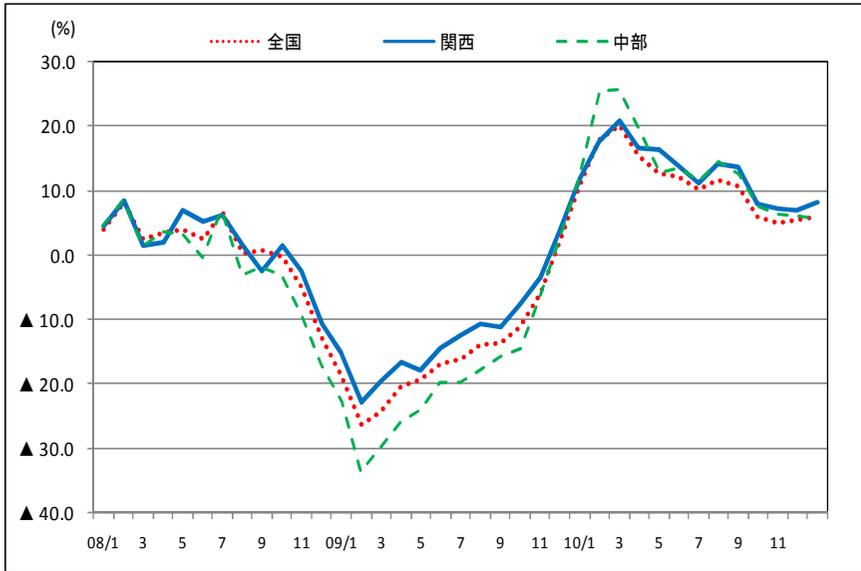
\*網掛は、生産が  
前月比プラスの業種

	全体	鉄鋼	金属製品	一般機械	電気機械	情報通信 機械	電子部品 デバイス	輸送機械	化学	食料品 たばこ
近畿10月	▲0.8	▲5.2	0.2	2.2	▲3.3	9.0	▲3.1	▲2.4	▲3.9	▲8.6
近畿11月	0.8	5.1	3.7	5.3	4.0	▲32.0	▲1.2	1.0	1.4	▲2.3
近畿12月	0.4	4.1	▲6.4	▲3.3	5.6	6.6	▲6.2	0.8	0.4	1.0
近畿1月	4.3	5.8	▲1.6	2.9	0.9	13.5	19.5	4.2	5.1	1.0
全国1月	1.3	5.6	3.3	3.9	1.6	▲7.9	2.1	7.0	▲6.4	▲0.6

- ・ 近畿の1月（速報）の鉱工業生産指数は、98.0。前月比+4.3%と3カ月連続の上昇。  
出荷は前月比+3.1%の98.6と、2カ月ぶりの上昇。在庫は、前月比+3.1%の93.4と、3カ月ぶりの上昇。  
 生産上昇に寄与したのは電子部品・デバイス工業、化学工業(除.医薬品)、一般機械工業等。品目別にみると、PDPモジュール、アクティブ型液晶素子(大型)、ショベル系掘削機械の順に上昇に寄与。低下したのは、金属製品工業、鉱業等。  
総じてみれば、生産は持ち直し。
- ・ 全国の1月（確報）の鉱工業生産指数は、96.0。前月比+1.3%と3カ月連続の上昇。  
出荷は、前月比+0.6%の96.4と3カ月連続の上昇。在庫は、前月比+4.0%の100.3と2カ月連続の上昇。  
 業種別では輸送機械工業、一般機械工業、鉄鋼業等が生産上昇に寄与。品目別では、普通乗用車、半導体製造装置、駆動伝導・操縦装置部品等が生産上昇に寄与。製造工業生産予測調査によると、2月も上昇を予測。

# ～生産～

産業用大口電力需要（対前年伸び率・2011年1月まで）

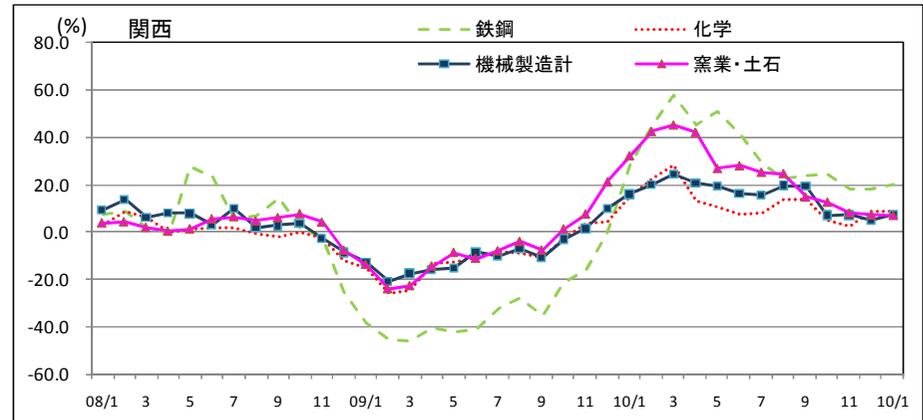


(出所) 電気事業連合会

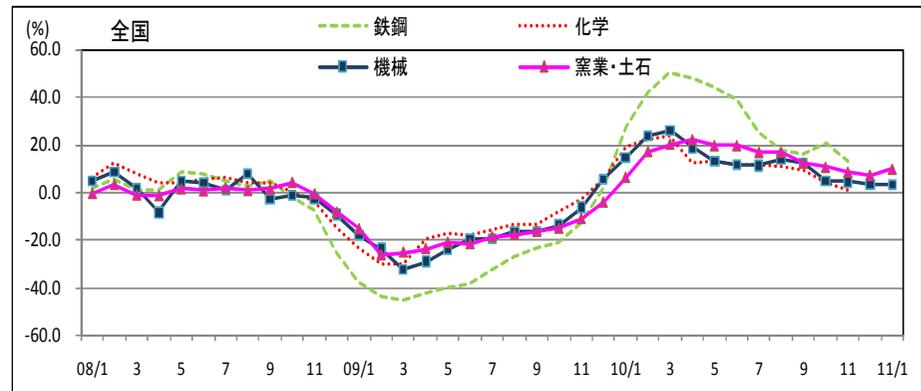
・1月の関西の大口電力実績は、前年同月比+8.0%と、14カ月連続で前年実績を上回った。プラス幅は前月から拡大。全国は+5.8%で、14カ月連続で前年実績を上回った。

・業種別(関西)では、製造業10業種中10業種で対前年比プラス。鉄鋼は、粗鋼生産量が増加したことなどから、化学は、ソーダ、石油化学および酸素がプラスとなったことなどから、機械製造計は、一般機械、電気機械および輸送用機械の全てがプラスとなったことなどから、それぞれ前年を上回った。

大口電力産業別実績（対前年伸び率 2011年1月まで）



(出所) 関西電力



(出所) 電気事業連合会

大口電力産業別実績（前年同月比伸び率 2011年1月まで・関西）

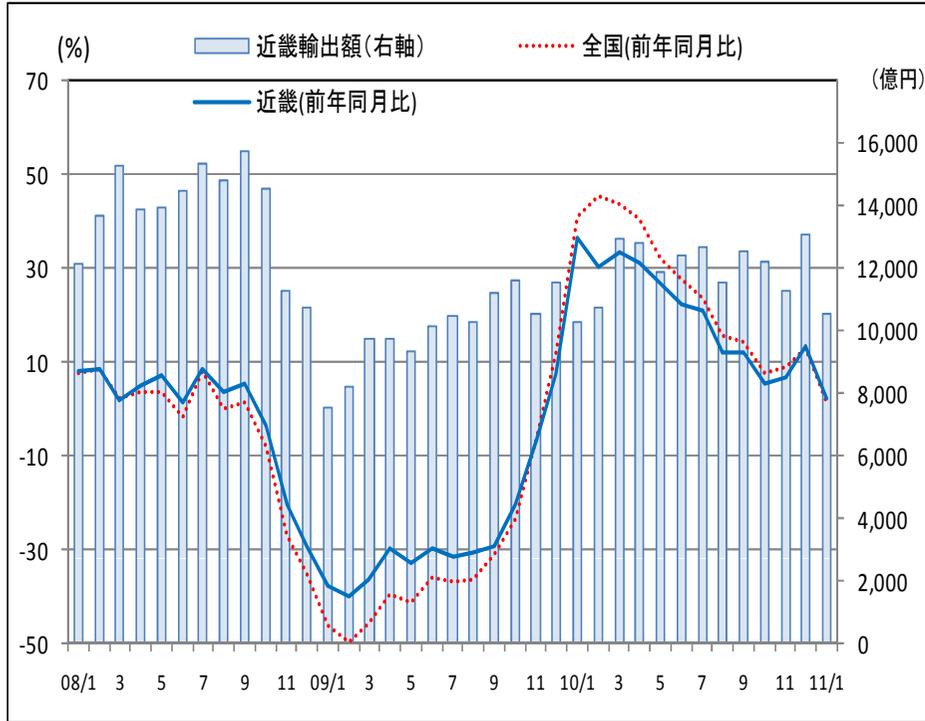
	食料品	繊維	パルプ・紙	化学	石油・石炭	ゴム製品	窯業・土石	鉄鋼	非鉄金属	機械製造計
11月	2.4	1.8	0.1	2.4	105.8	8.7	7.8	18.5	9.4	7.1
12月	3.8	10.7	2.0	8.5	67.9	5.8	7.0	18.1	7.4	5.1
1月	3.6	10.6	1.2	8.4	49.8	6.8	6.8	19.9	10.8	7.2

(%)

\*網掛は、伸び率が前年比プラスの業種

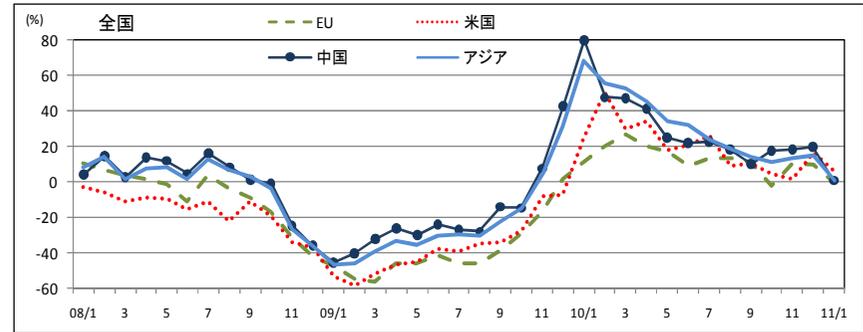
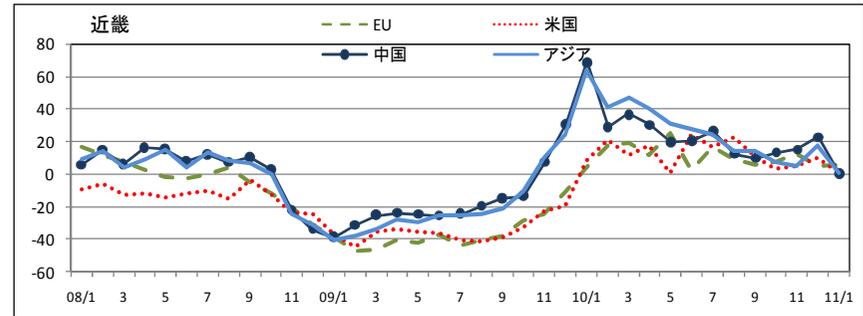
# ～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移 (2011年1月速報まで)



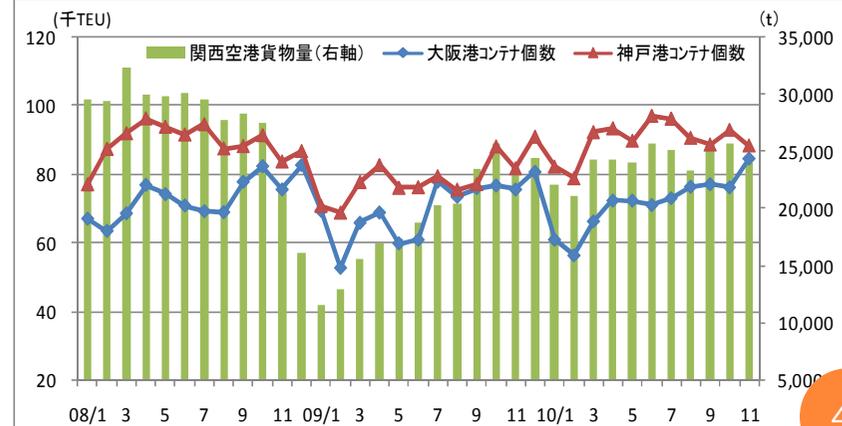
出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

地域別輸出金額・前年同月比推移



出所：大阪税関 資料

近畿・港別貨物取扱量(輸出)



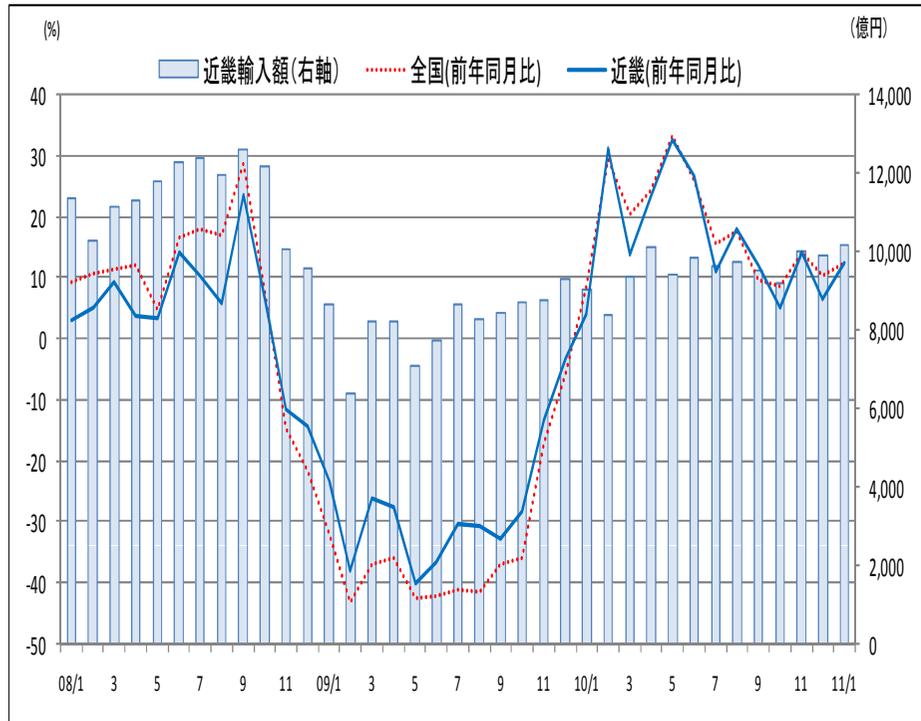
出所：大阪税関 資料

○近畿の月次の輸出動向 (2011年1月速報まで)

- ・ 1月の近畿の輸出額は1兆513億円、前年同月比+2.3%と14カ月連続の前年比プラス。プラス幅は前月(+13.5%)から縮小。
- ・ 地域別では、アジアが前年同月比+0.3%、うち中国が同+0.3%と、ともに15カ月連続のプラス。中国向け輸出額は2,396億円と、1月としては過去最高額。EUは同+5.8%、米国は同+0.8%と、ともに13カ月連続のプラス。
- ・ 灯油等の鉱物性燃料、建設用・鉱山用機械、半導体等製造装置、鉄鋼、原動機等が増加に寄与。

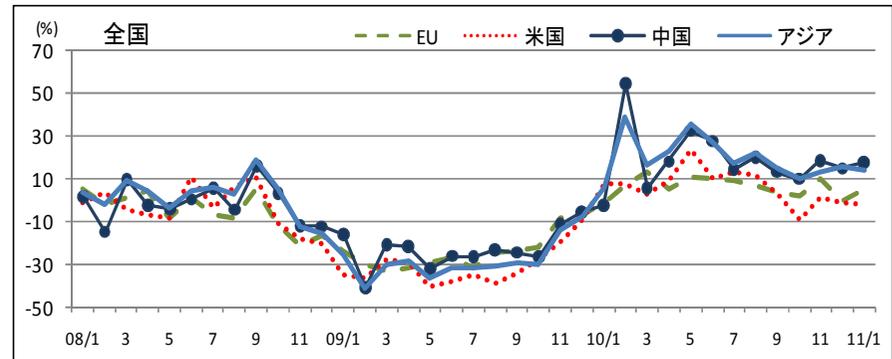
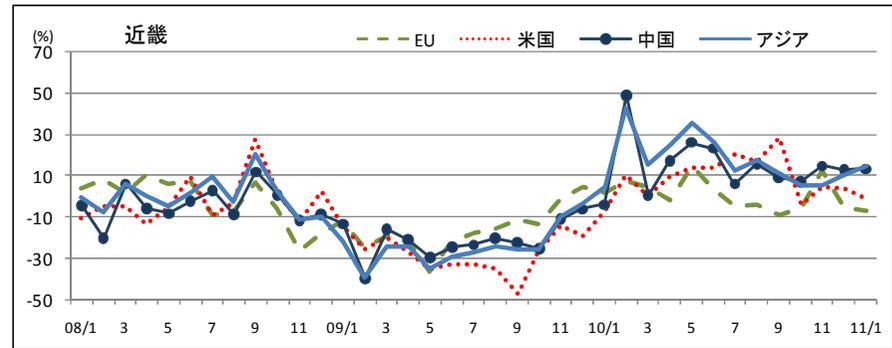
# ～輸入～

## 輸入金額・前年同月比増減率推移 (2011年1月速報まで)

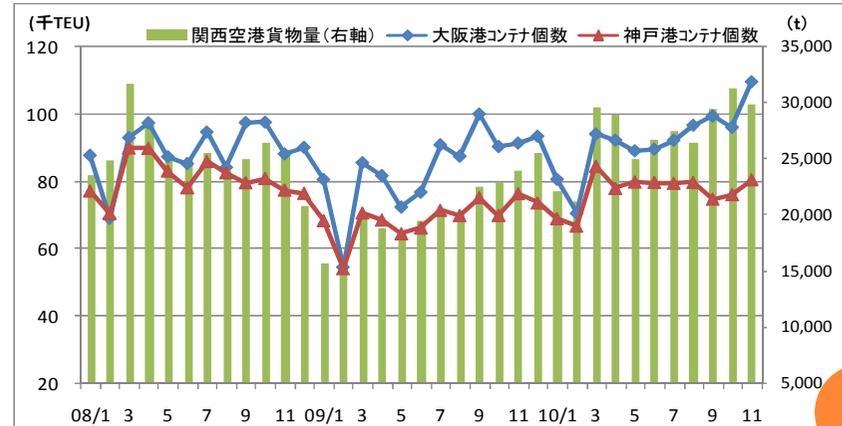


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

## 地域別輸入金額・増減前年同月比推移



## 近畿・港別貨物取扱量(輸入)



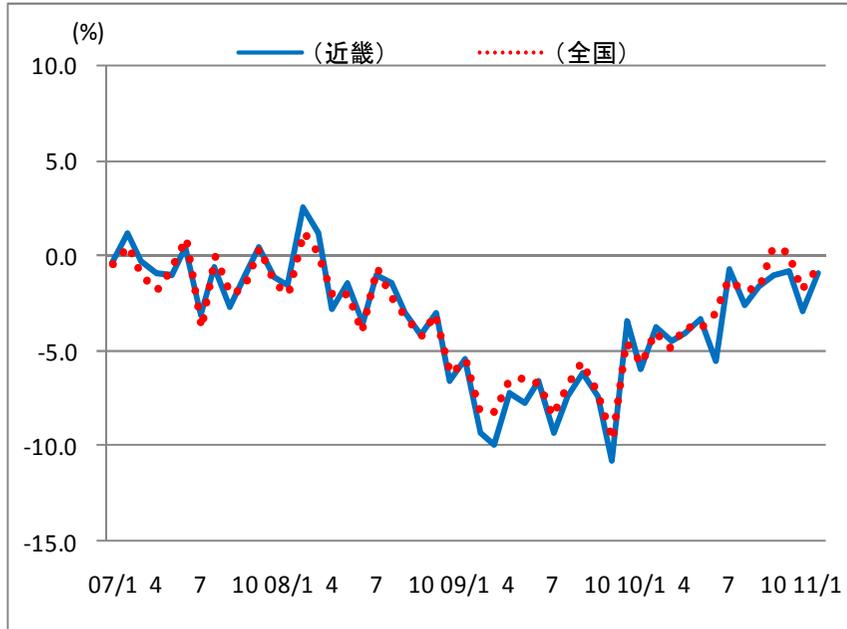
出所：大阪市、神戸市、関西国際空港(株) 資料

### ○近畿の月次の輸入動向 (2011年1月速報まで)

- ・ 1月の近畿の輸入額は1兆171億円、前年同月比+12.6%と、13カ月連続のプラス。プラス幅は前月(6.6%)より増加。
- ・ 地域別では、アジアが前年同月比+14.8%と13カ連続のプラス。アジアのうち中国が同+13.5。米国が同▲0.8%と3カ月ぶりのマイナス、EUが同▲7.1%と7カ月連続のマイナス。
- ・ 品目別では、衣類及び同付属品、原油及び粗油、音響・映像機器(含部品)、天然ガス及び製造ガス等が増加に寄与。

# ～個人消費～

大型小売店販売額（前年同月比・2011年1月まで）



(出所) 近畿経済産業局

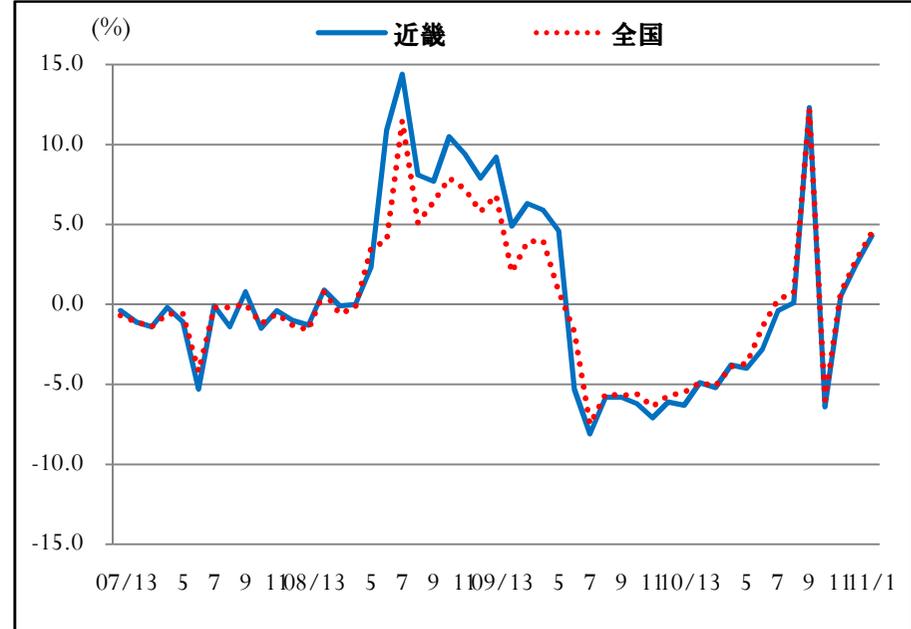
- ・ 近畿の1月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲1.0%と34カ月連続のマイナス。前月(▲2.9%)からマイナス幅が縮小。
- ・ 百貨店が同▲1.4%と6カ月連続のマイナス。スーパーは同▲0.7%と4カ月連続のマイナス。

主なコメント（近畿）

(出所) 近畿経済産業局

- ・ 気温低下とクリアランスセールが重なり防寒商品が売れた。(百貨店)
- ・ 電気暖房やカイロ、布団・毛布などが気温の影響により好調だったほか、空気が乾燥していたことから、加湿器やスキンケア商品、風邪薬などが売れた。(スーパー)

コンビニエンスストア販売額（前年同月比・2011年1月まで）

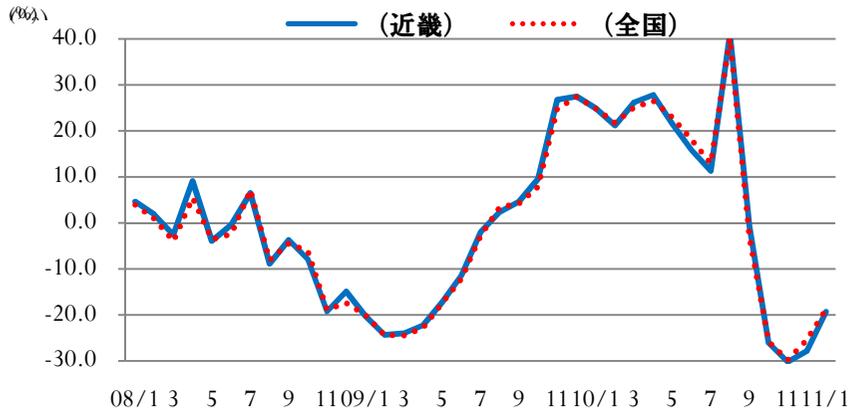


(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の1月のコンビニエンスストア販売額(既存店ベース)は、前年同月比+4.3%と3カ月連続のプラス。
- ・ 全国は同+4.5%と、3カ月連続のプラス。
- ・ 気温低下により、ホット飲料やおでんなどが比較的好調であったほか、たばこも金額ベースで売上を押し上げた。(全国)
- ※ (社) 日本フランチャイズチェーン協会調べ

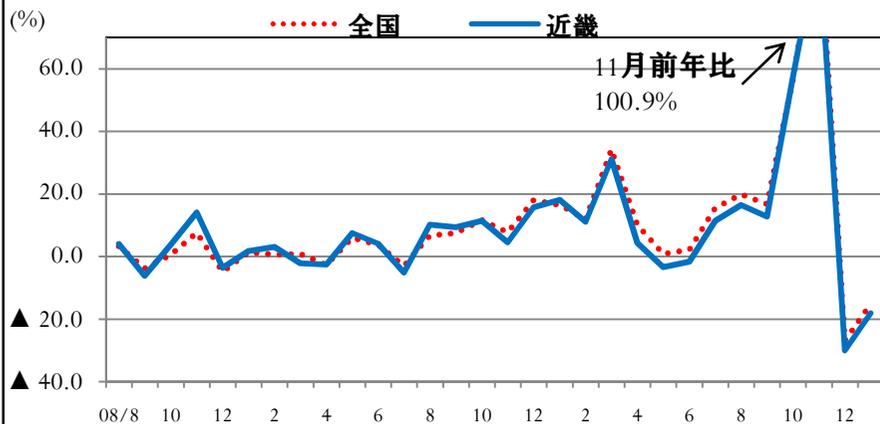
# ～個人消費～

新車登録台数（前年同月比・2011年1月まで）



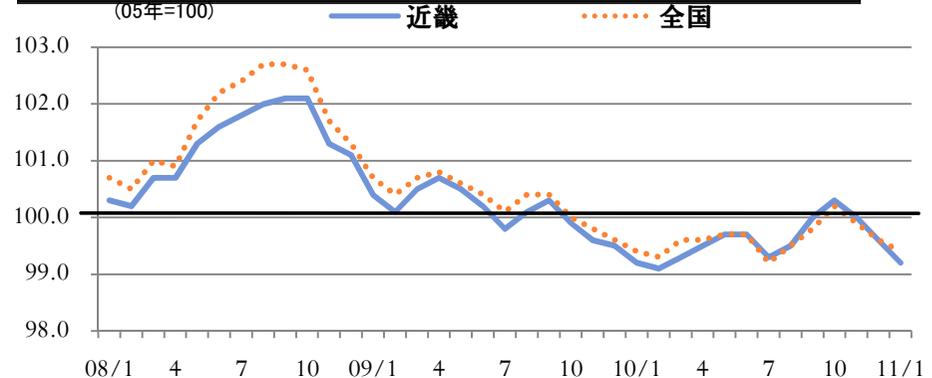
・近畿の1月の新車登録台数は、前年同月比▲19.3%。  
車種別では、普通車▲30.0%、小型車▲18.0%、軽四車▲7.7%。  
(出所) 近畿経済産業局

家電販売額（前年同月比・2011年1月まで）



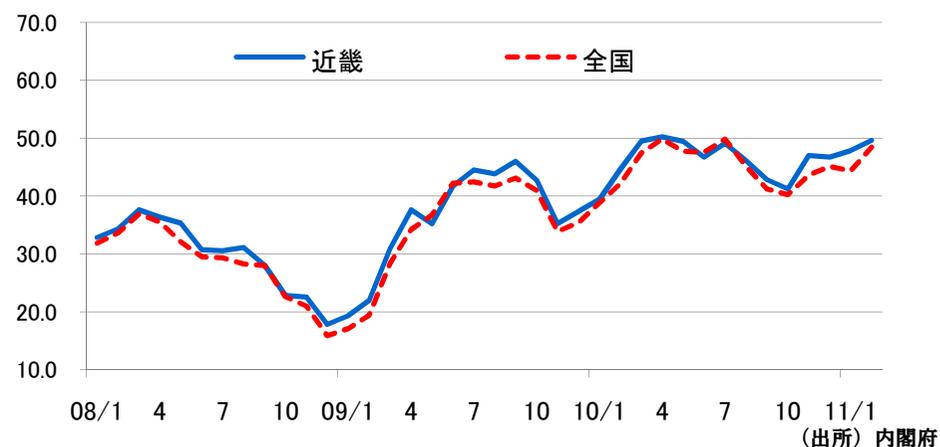
・近畿の1月の家電販売額は、前年同月比▲18.1%。前月(▲30.0%)からマイナス幅は縮小し、家電エコポイント制度変更に伴う駆け込み需要の反動は底を打ったとみられる。カーナビ(▲47.1%)、冷蔵庫(▲21.9%)等が引き続き前年比マイナスであるが、携帯電話(+8.3%)は10カ月連続のプラス。  
(出所) 近畿経済産業局

消費者物価指数（総合指数・2011年1月まで）



・近畿の1月の消費者物価指数(総合指数)は、前月比▲0.4%の99.2と、3カ月連続の下落。前年同月比では横ばい。食料(酒を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.1で、前月比▲0.8%、前年同月比▲0.4%。  
(出所) 総務省

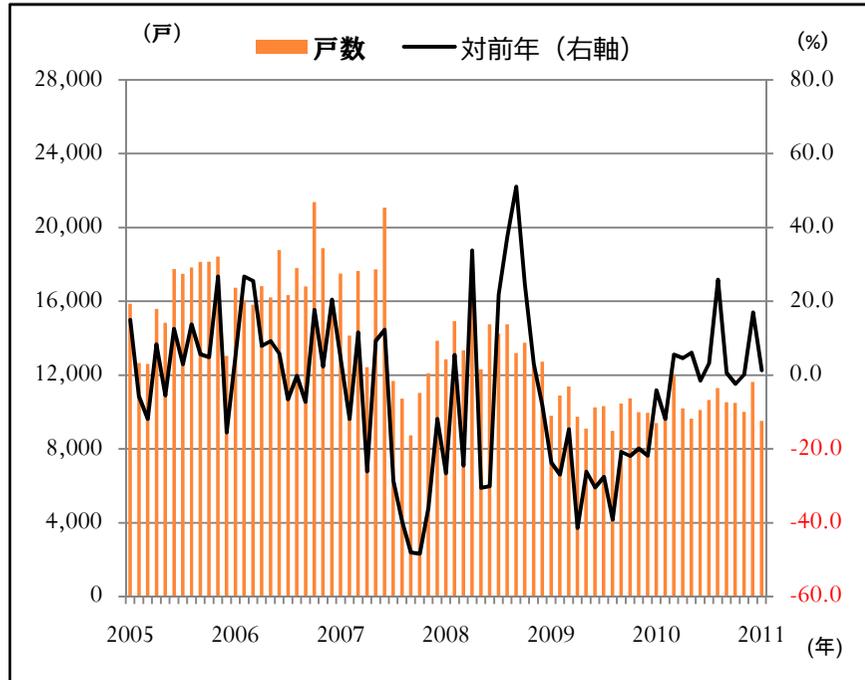
景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2011年2月まで)



・2月の近畿の現状判断DIは49.6で、前月比+1.8ポイント、2カ月連続のプラス。全国は前月比+4.1ポイントの48.4。  
・原材料価格上昇により採算悪化の懸念が強まっているものの、政策効果の反動減が収まりつつあること等から上昇。  
・近畿の先行き判断DIは49.5、前月比+1.9ポイント。  
(出所) 内閣府

## ～住宅投資～

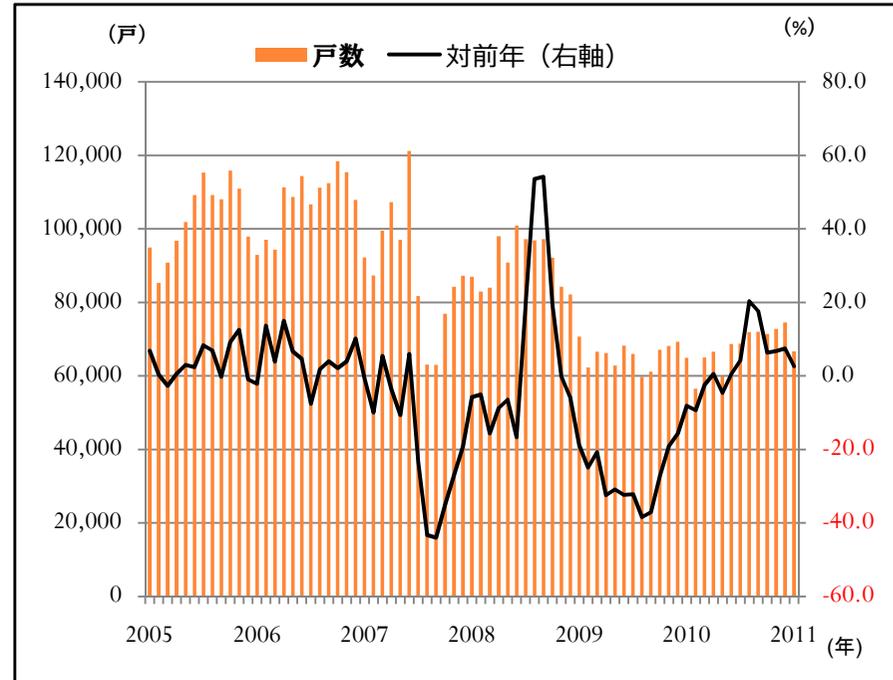
新規住宅着工戸数（近畿・2011年1月まで）



(出所) 国土交通省資料

- ・ 1月の近畿の新設住宅着工件数は9,525戸、前年同月比+1.3%。3カ月連続のプラス。
- ・ 利用関係別の対前年同月比を見ると、政策効果もあり、持家が+1.1%と6カ月連続のプラス。  
貸家が▲6.0%と2カ月ぶりのマイナス。  
分譲は+3.5%と3カ月連続のプラス。  
分譲のうち、マンションが+21.4%と2カ月連続のプラス。  
一戸建て住宅は▲10.4%と4カ月ぶりのマイナス。

新規住宅着工戸数（全国・2011年1月まで）

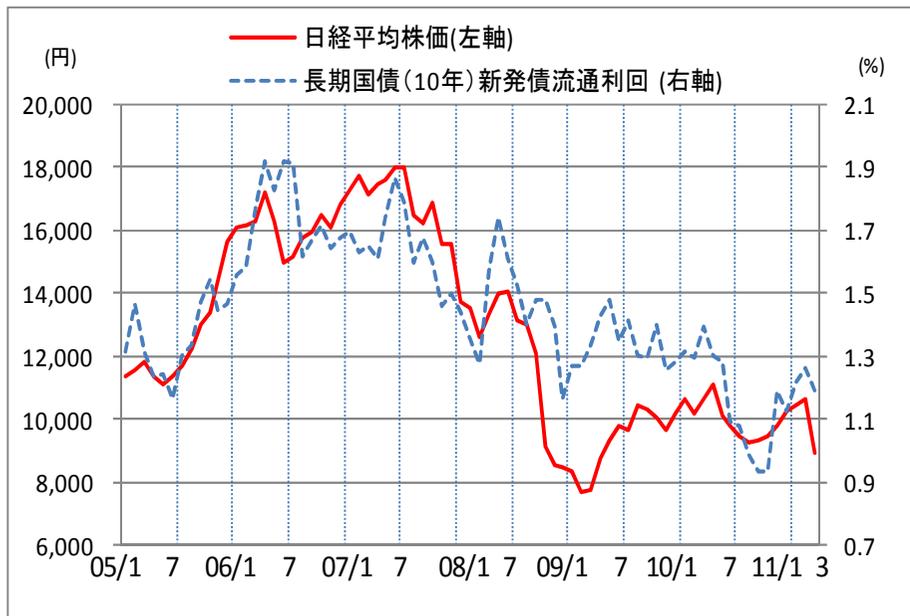


(出所) 国土交通省資料

- ・ 1月の全国の新設住宅着工件数は66,709戸、前年同月比+2.7%と8カ月連続のプラス。
- ・ 利用関係別に見ると、持家+5.5%、貸家▲11.3%、分譲+22.3%。分譲のうち、マンションが+31.1%と前年から大幅に増加。一戸建て住宅が+14.6%。  
持家が15カ月連続、マンションが8カ月連続、一戸建てが12カ月連続でそれぞれプラス。  
貸家は4カ月連続のマイナス。

## ～株式・長期金利～

日経平均株価（期中平均）・長期国債新発債流通利回（月末）  
（※ただし3月は17日時点）

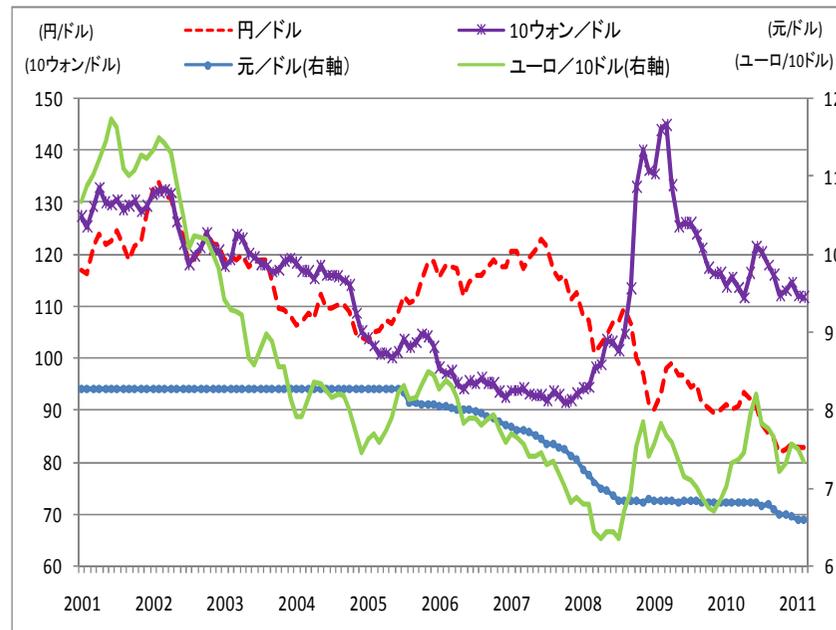


（出所）日本経済新聞社

- ・3月17日の日経平均株価（終値）は、前日比131.05円安の8962.67円。
- ・2月まで3カ月連続で期中平均が1万円台となるなど堅調に推移していたが、3月11日に発生した東日本大震災後、急落。15日には一時8400円を割り込み、前日比1260円安と、リーマンショック直後を超える下げ幅となった。  
地震の被害や計画停電の影響による日本経済の長期停滞懸念に加え、福島第一原子力発電所の事故により市場心理は冷え込んでおり、投資家の売り注文が膨らんでいる。
- ・2月末の長期国債（10年）新発債流通利回りは、年率1.27%、1月末からは0.046%の上昇。
- ・3月17日は1.19%まで低下。投資家がリスク回避姿勢を強め、株式から債券に資金が流出しているとみられるが、国債増発の懸念もあり、先行きは不透明。

## ～為替相場～

為替相場の動き（期中平均値・2011年2月まで）



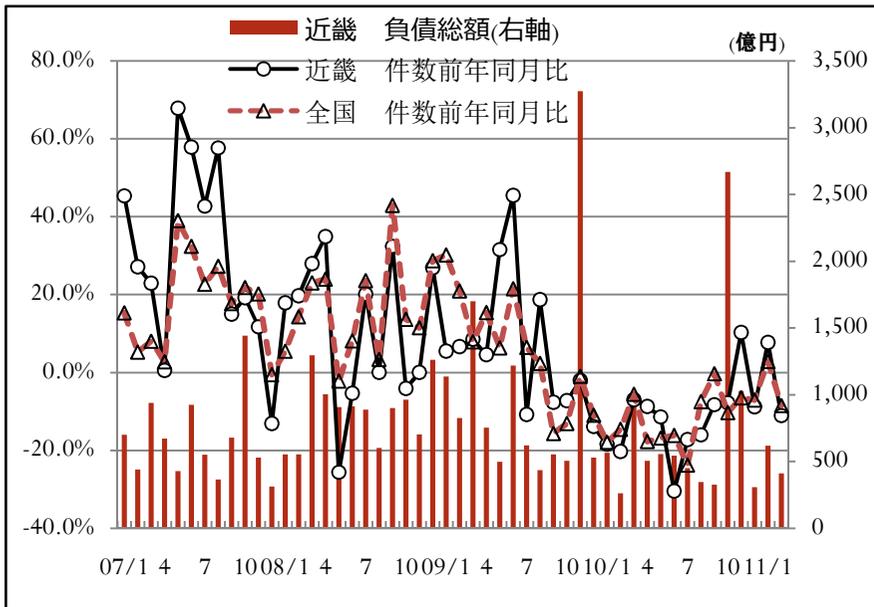
（出所）FRB

通貨	1月 （期中平均）	2月 （期中平均）	前月比
円/ドル	82.63	82.57	0.06 円の円高
ユーロ/ドル	0.748	0.733	0.02 ユーロのユーロ高
元/ドル	6.60	6.60	横ばい
ウォン/ドル	1118.87	1117.09	1.78 ウォンのウォン高

- ・3月17日早朝の海外市場では、一時、76.25円/ドルまで値上がりし、1996年4月の79.75円/ドルを上回り、15年11カ月ぶりに史上最高値を更新した。
- ・震災に対応して、今後、日本企業が復旧資金などに必要な円の確保に動いて相場が値上がりするとの見方が広がり、投機的資金による円買いの動きが加速しているとみられる。

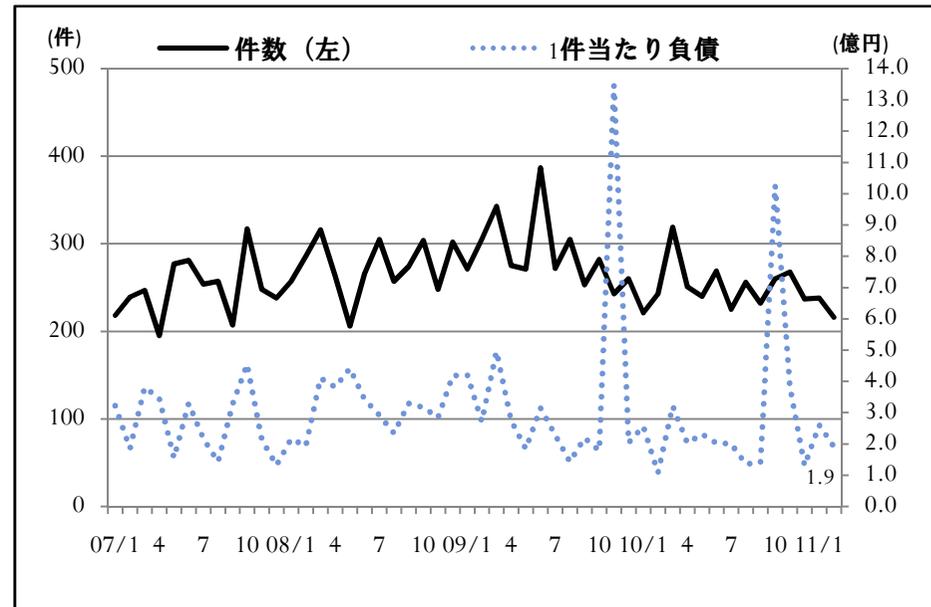
# ～倒産～

倒産件数前年同月比・負債総額の推移 (2011年2月まで)



(出所) 帝国データバンク

近畿の倒産件数と1件当たり負債額の推移



(出所) 帝国データバンク

- ・ 2011年2月の近畿の倒産件数は216件。前年同月比▲11.1%と、2カ月ぶりに前年同月を下回った。
- ・ 近畿の負債総額は411億7300万円、前年同月比;+57.1%。
- ・ 全国の倒産件数は884件、前年同月比▲8.5%。  
全国の負債総額は3,920億円、前年同月比▲8.3%。

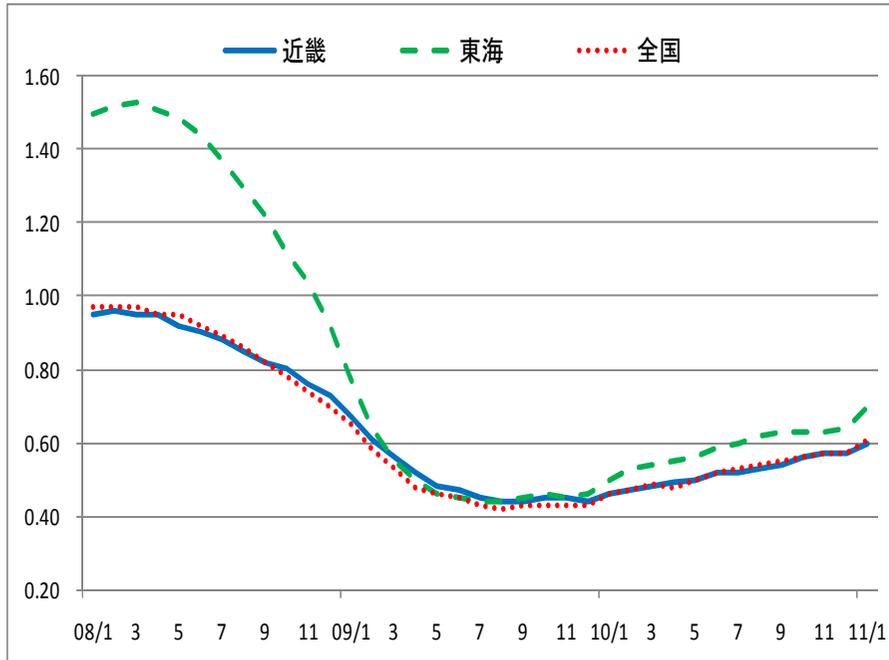
- ・ 2月の近畿の1件当たり負債額は1.9億円。
- ・ 負債総額は前年同月比大幅増加も2月としては2000年以降で2番目に低い水準。小資本企業の構成比は依然高水準。

2011年1月以降の近畿の大型倒産

月	企業名	所在地	業種	負債総額(億円)
2月	ジャストワン(株)	兵庫	百円均一ショップ・ゲームセンターほか運営	62
	徳山生コンクリート(株)	大阪	生コンクリート製造	28
	エクセル(株)	大阪	アクセサリ輸入卸	19
	(株)響	兵庫	内装工事	18
	丸正高瀬(株)	大阪	織物卸	13
	飛石機械産業(株)	兵庫	建築工事	11

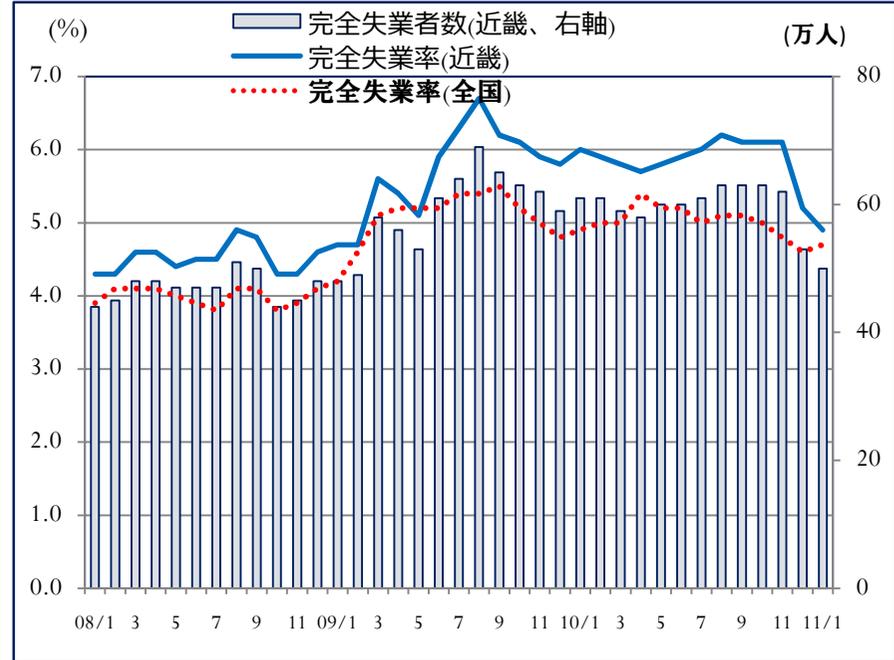
# ～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2011年1月まで）



(出所) 厚生労働省

完全失業率の推移（原数値・2011年1月まで）



(出所) 総務省

地域別有効求人倍率（2011年1月：下段は前月比）

全国	北海道	東北	南関東	北関東	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
0.61	0.44	0.50	0.59	0.63	0.77	0.70	0.60	0.75	0.73	0.52
+0.03	▲ 0.01	+0.02	+0.03	+0.03	+0.07	+0.05	+0.02	+0.01	+0.02	+0.02

- ・ 2011年1月の近畿の有効求人倍率は0.60倍、2カ月連続の上昇。  
0.6倍台に回復したのは1年11カ月ぶり。
- ・ 全国は0.61倍で、前月より上昇。  
地域別に見ると、北海道で低下、その他の地域は全て上昇。

- ・ 1月の近畿の完全失業率（原数値）は4.9%。前月の5.2%から0.3ポイントの改善。  
前年同月比では1.1ポイントの改善。
- ・ 1月の全国の完全失業率（原数値）は4.7%、前月（4.6%）から0.1ポイントの悪化。
- ・ 1月の全国の完全失業率（季節調整値）は4.9%、前月と横ばい。